

ちょっと最近気になる病気

高熱に注意!

よう れん きん かん せん しょう 溶連菌感染症

突然高熱の出る、非常に感染力の強い病気です。
下記の症状が見られたら、早めに受診しましょう。

- 症状**
- 突然高熱が出て、のどがはれて痛みが出る
 - 全身に発しんが出る
 - 舌にイチゴ状の赤いぶつぶつが出る
 - おう吐、頭痛が起こる

注意!
症状が落ち着いたら薬をやめると、腎炎などになる危険が。医師の指示どおり最後まで飲みましょう。

注意!
抗菌薬を飲んでから24～48時間は登園停止です。

寒暖の差が激しくなってきました。このところ発熱で病院受診をする子どもさんがぼつりぼつり。溶連菌感染症の診断を受ける子どもさんがおられます。溶連菌感染症は、医師の指示に従い確実な治療をしないと、腎炎などになる危険があります。必ず医師の指示に従い、確実な内服治療を行いましょう。

こんなときは病院受診をお勧めしています!

- 鼻が詰まって食事がなかなかすすまない時。
- 熱が37.5℃以上あるとき
- お昼寝のとき、咳がひどくなかなか寝付けない、または途中で起きてしまう時。
- 咳がひどく嘔吐をしてしまう時。
- 嘔吐や下痢が2回以上あった場合。

熱の有無にかかわらず、集団生活を安心して送るために担任または看護師から連絡させていただきます。



肌を感じる空気が日増しに冷たさを感じるようになってきました。子どもたちの装いも半袖の子がいたり、長袖の子がいたり様々ですが、日中の活動後はたくさん汗をかいています。子どもたちが気温に合わせて衣服の調整ができるよう着替えの準備をお願いいたします。また、体調を崩しやすい時期です。保育園から帰った際には手洗い・うがいはもとより十分な睡眠がとれるよう早寝、早起きができるよう生活リズムを整えましょう。



秋冬のスキンケア3か条

秋冬の乾燥した空気は、デリケートな子どもの肌には大敵。放っておくと、かゆかゆ、かさかさになってしまいます。「こまめに、丁寧に」日常的なケアをしてあげてください。

① たっぶり保湿

保湿剤は、お風呂上がりには必ず塗りましょう。肌に湿り気があるうちに使うと、角質層に水分を閉じ込められるので効果的。

② 清潔を保つ

顔に汚れなどが付いていたらきれいにふいて。お風呂ではさじさじこすらず、せっけんを泡立てて優しく洗います。

③ 刺激を少なくする

直接肌にふれる衣類は綿素材がお勧め。ポリエステルなどの合成繊維は静電気を起こしやすいため、皮膚を刺激してかゆみのもとに。



10月の乳幼児健康診査

1日(金) 乳幼児健康診査

15日(金) ことばの相談

19日(火) 3歳6ヶ月児健診

25日(月) 2歳6ヶ月児相談

27日(水) 赤ちゃん相談

詳しくは広報しずくいしで確認のうえお出かけください。

